

# クロズハマベゴミムシダマシ コウチュウ目ゴミムシダマシ科

*Epiphaleria atriceps* Lewis

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

近年の県内の砂浜環境における詳細な調査にもかかわらず、内灘町宮坂以外からは本種を見いだすことができず、分布が極めて局所的であり、個体数も多くない。

## 形態

体長約 5.0mm。体色は黄褐色で、頭部、前胸背板の中央後部と上翅の中央前部が黒色を呈する。

## 国内分布

本州、四国、九州に分布する。

## 県内分布

内灘町宮坂の権現森海水浴場周辺から得られているのみである。

## 生態

海浜性のゴミムシダマシで、初夏から秋季にかけて、砂浜に漂着した魚の死体、海藻や流木の下などに見られる。やや湿った砂から見つかることが多い。

## 生息地の条件

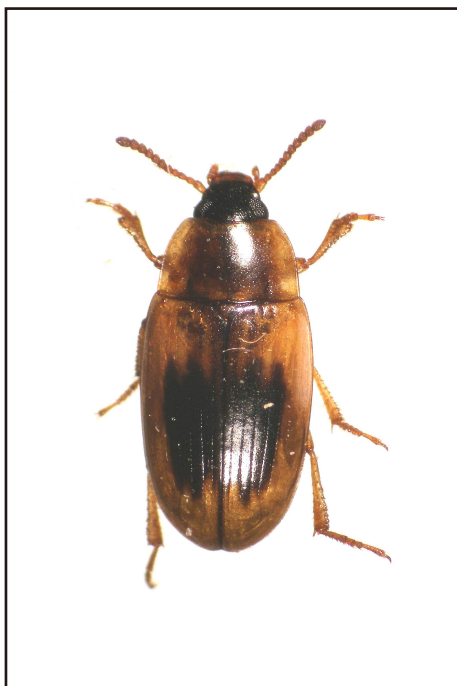
海藻や流木などの隠れ場所となるものが漂着し、その下に湿った状態の砂が維持されていること。乾燥した砂は本種の生息には適さないようである。

## 生存の危機

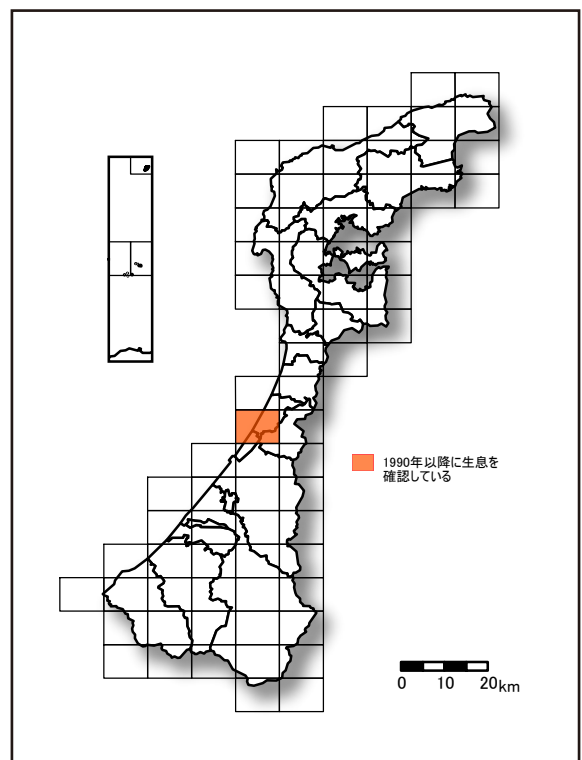
護岸工事のほか、海水浴客の投棄する様々なゴミ類、化学薬品等が入った容器の漂着、砂浜への車両の進入などによる砂浜環境の汚染や破壊は、局所的に分布する本種にとって脅威となる。(A)

## 参考文献

高羽正治 1995. 石川県の砂丘地にいる甲虫. アカハネムシ, (15) : 5.



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布